

# 『大学教育論叢』の創刊にあたって

大学教育センター長

鶴田 泰人

福山大学は教育理念として、信頼と愛に基づく人間関係を育む〈心情と愛の教育〉、人の生命を尊重し自然を畏敬する〈人間と自然を尊ぶ教育〉、理論と実践とをつなげる〈知行合一の教育〉により、豊かな人間性を基盤に調和のとれた人格陶冶を目指す「全人教育」を掲げています。この教育理念を実現するために、本学では「福山大学教育システム」を構築し、「学生に確かな学士力をつけ、地域の中核となる幅広い職業人に育成する」ことをミッションとして掲げ、全学での教育改革の努力を一体化・構造化することを目指して、平成21年4月に全学的な教育プログラムを統括する機関として「福山大学大学教育センター」をスタートさせ、初代のセンター長松浦史登副学長のもとで強力に教育改革を推進してまいりました。このセンターには大学全体の教育についてのPDC Aサイクルを推進していく役割のほか、本学の共通教育の企画・実施を担う機能を果たすことも求められています。

最近の大学教育においては、多様化する学生や変化している学習・生活環境や社会環境に対応するためにいろいろな教育改革が求められています。学生が課題発見・探究能力、実行力といった「社会人基礎力」や「基礎的汎用力」などの確かな学士力と社会人力を身につけることができるように大学教育の内容の充実が必要となってきています。そこには大学の教育課程で教育を実践していく上で教育の内容、方法、評価などについて点検・評価・改善を繰り返し実施しながら一層充実した教育を提供して、学生をサポートしていくことが求められており、そのためにも教育を担当する教員の日々の研鑽が必要不可欠となっています。

本学の教員各位におかれては、日々教育・研究、社会貢献等に活発に取り組まれておられるところですが、当センター所属の専任教員をはじめ、兼任及び併任教員、その他客員教授や非常勤講師も、教養教育、基礎教育、語学教育、キャリア教育など充実した全学共通教育を提供するために着実かつ真摯な取り組みを続けています。そうした全学共通教育を担当される先生方の活動や研究成果を広く社会に公表し、説明責任を果たしていくことも当センターの使命と考え、大学教育センターの紀要として『大学教育論叢』を刊行することにいたしました。ここに大学教育センターの大塚豊教授をはじめ多くの先生方のご尽力により、センター創設以来の懸案であった紀要を無事創刊できる運びとなりましたことを心より嬉しく思います。

この紀要が本学の共通教育に携われる先生方の教育・研究の成果発表の一つの場として有効に機能し、今後ますます充実、発展していくことを念願しています。

平成27年3月